



olive・heart通信

香川大学男女共同参画推進室ニュースレター



報告① 2016.8.4-9 オープンキャンパスで相談コーナーを設置しました。

8/4(木)・8/9(火)に、オープンキャンパスを訪れる高校生にむけて、大学院生が窓口になり、高校生が気軽に相談できる相談コーナーを、今年度も農学部と経済学部を設置しました。

訪れる高校生にとって、いきいきと研究や学業に取り組む大学院生・学部生に出会い、学部の様子や研究の一端に触れることで、進路選択の幅を広げ、自身の可能性について考える貴重な時間になったのではないかと思います。

農学部

日時：8/4(木) 12:30~15:30/
場所：BW311教室／実績：相談者17名

約3時間の間に、17名の男女高校生と数名のご父兄が相談に来られました。

学生生活、勉強、入試対策などの大学に関する質問から、サークル・アルバイト、卒業後の就職についての質問など、多岐にわたって相談を受けました。アンケート回答によると、相談を受けた高校生は皆満足度は高く、より香川大学に進学したい、という気持ちになったことが窺えました。県外からの参加者も非常に多く、遠くは沖縄県から来たという高校生もいて、関心の高さが伝わりました。



経済学部

日時：8/9(火) 11:15~14:15/
場所：南1号館E32教室／実績：相談者35名

経済学部では、経済学部生によるゼミナール研究会の企画「学生と話そう」のプログラム会場の一角にブースを設置し、パネル展示および、アンケート用紙の配布を行いました。

目次：

オープンキャンパス相談コーナー実施の報告.....	P1
香大っこサポーター託児体験実習実施の報告.....	P2
農学部収穫祭 相談コーナー実施の報告・推薦入試時の託児実施の報告.....	P3
国際論文投稿セミナー開催の報告.....	P4

報告② 2016.9.30 「香大っこサポーター託児体験実習」を実施しました。

- 日 時：9月30日（金）10：30～15：00
- 場 所：集団療法室（北8号館2階）
- 参加人数：6名

香大っこサポーター大募集!
定員15名

香川大学 男女共同参画推進室では、平成22年度より学生によるボランティア活動を奨励して、社会貢献の学習を推進しています。本募集は、学生の社会貢献活動や、社会福祉の理解促進に資する活動として実施します。本活動は、香川大学の社会福祉学部・社会福祉学系に属する「香大っこサポーター」の活動の一環として実施します。募集は、香川大学の社会福祉学部・社会福祉学系に属する「香大っこサポーター」の活動の一環として実施します。

STEP1 香大っこサポーター説明会を開催します!
7月13日(水) 13:30-16:00 香町キャンパス 北8号館2階 823講義室

STEP2 DVD受講
7月13日(水) 13:30-16:00 香町キャンパス 北8号館2階 823講義室

STEP3 託児体験実習
9月30日(金) 10:30-15:00 北8号館2階 823講義室

香川大学 男女共同参画推進室
〒769-8501 香川県高松市香町3-1-1
TEL: 087-821-1111 FAX: 087-821-1112
http://www.kagawa-u.ac.jp/kyosei/

香大っこサポーターってなに??

香大っこサポーターとは、香川大学の教職員や大学院生等の子どもたち「香大っこ」をみんなで育てていくためにお手伝いして下さる学生さんのことです。

サポートは託児を中心にお願ひしており、子どもの預かりボランティアを通して仕事と子育ての両立や育児の大変さを少しでも体験してもらう目的で行っています。

香大っこサポーター活動の様子



7月13日（水）に香町キャンパスで実施した「香大っこサポーター養成講座 説明会」に続いて、9月30日（金）「香大っこサポーター養成講座 託児体験実習」が行われました。

香大っこサポーターの個別の託児に備えて、指導者が見守る中、実際の乳幼児の預かりを通して具体的な託児技術を習得することを目的に行いました。

国分寺子育て広場「ぶんぶん」を利用する保護者の方々にご協力いただき、託児ボランティアあゆみ代表 梶ヶ谷真知子さんと2名のスタッフの方のご指導のもと、1歳2ヶ月から2歳まで、計5名の乳幼児の託児を体験しました。

始めに、託児をする上での環境作りやおもちゃの選び方（今日預かる年齢の子ども相手のする場合、使えるおもちゃ・使えないおもちゃはどれか）など、気をつけるべきことを教えていただきました。

実際にお母さん方からお預かりする際は、託児シートの記述を参考に、お子さんの特徴や好きな遊び、アレルギーの有無などをお母さん方と確認しました。そしていよいよ、お母さん方が部屋から出て行ってしまい、その途端に泣き出してしまふ子どもが数名…。一斉に「ママ～泣」と、追いかけて扉へと集合していました。その姿にかなり戸惑いつつも、何とか泣き止ませよう、気を紛らわそうと、学生たちも一生懸命に子どもたちと向き合っていました。

そのうちに、泣き疲れて眠ってしまう子。お昼ご飯を食べてご機嫌な子。相変わらずにここにこと遊ぶ子…と、状況も少しずつ変わり、学生たちも子どもたちも、だんだんと打ち解け合い、お母さんがお迎えに来る頃は、すっかり仲良くなっていました。



今回参加した学生からは「実際に子育てをする母親の色々な言葉を聞いて大変さが伝わってきたし、それ以上に関わって得られる楽しさを感じることができました。」「すごく楽しかった！子どもたちがかわいくて仕方なかった。」「実際に赤ちゃんに触れ合ってみて、親の大変さや偉大さを実感することができました。」「布団に寝かせる際は非常に難しく、結局起きてしまったのですが、お母さんたちは毎日こんなことをして過ごしているのかと思い、確かに「戦争」だと感じました…。」とのリアルな感想があり、大変ながらもとても貴重な体験をすることが出来たのではないかと感じました。

ご協力いただきました、国分寺の保護者の皆さん、梶ヶ谷さん、託児ボランティアあゆみのスタッフさん、本当にありがとうございました。



報告③ 2016.11.3 農学部収穫祭にて相談コーナーを設置しました。

- 日 時：11月3日（木）10：00～15：00
- 場 所：農学部 BW111教室
- 対 応：農学部大学院生4名 ●相談者：10名

11/3（木）に、農学部開催の収穫祭を訪れる高校生にむけて、10：00～15：00の間、BW111教室にて4人の大学院生が窓口に立ち、男女共同参画推進室 相談コーナーを開催しました。

今回は、一つの部屋を3つのブースで使用することになり、スペースも夏のオープンキャンパス時より少し狭くなったのですが、10名もの高校生の訪問があり、大学院生が相談員として高校生の様々な疑問に答えました。

高校生からは主に、農学部についての質問が多く、その次に入試についてや受験勉強についてなど、まもなく迎える入試シーズンに向けての相談が続きました。アンケート結果によると、多くの高校生から「疑問点が解消され、進路選択の参考になった」と回答をいただき、大変好評でした。



アンケート結果（一部）

Q.相談コーナーを訪れた感想

- 一つの学部でもたくさんの研究室があって面白そうだと思いました。
- 面白かったです。大学について色々知れて良かったです！！
- 知らなかったことを、丁寧に親切に教えてくれました。すごく為になりました。

報告④ 2016.11.19 推薦入試時の託児を実施しました。

11/19（土）の推薦入試時に、入試業務に携わる教職員を対象に、休日出勤時の託児を、幸町キャンパス 男女共同参画推進室 香大っころームで実施しました。

託児ボランティアあゆみの協力のもと、7名のお子さまをお預かりしました。また、学生ボランティアである香大っこサポーターからも、2名のサポーターが託児に参加しました。



国際論文投稿セミナー

これから英語論文を国際誌へ投稿する、
若手研究者・女性研究者・大学院生のために。

日程 2016年12月20日(火) 19:00-21:00(18:30開場)

会場 香川大学医学部 大講義室A

プログラム

19:00-19:45 開会の挨拶 (19:00-19:30) 高石 雅人 氏

19:45-20:15 論文作成のポイント 石川 かおり 氏

20:15-20:45 質疑応答 高石 雅人 氏

20:45-21:00 閉会の挨拶 (20:45-21:00) 高石 雅人 氏

報告⑤ 2016.12.20 「国際論文投稿セミナー」を開催しました。

- 日 時：12月20日（火）19：00～21：00
- 場 所：香川大学医学部 大講義室A
- テレビ配信会場：工学部（4301講義室）、農学部（A405講義室）、幸町キャンパス（情報センターセミナー室）
- 参加人数：医学部会場44名
その他会場13名（工学部10名、幸町2名、農学部1名）

12月20日（火）香川大学医学部において、国際論文投稿セミナーを開催しました。

まず、男女共同参画推進室 柴田潤子室長、医学部 今井田克己学部長から開会の挨拶があり、その後、香川大学医学部の南野哲男教授、同じく医学部の石川かおり学内講師、エルゼビア・ジャパン株式会社の高石雅人氏に、英語論文作成ポイントや英語論文執筆時の抄録・参考文献データベースの活用方法について講演していただきました。

アンケートでは、8割近くの参加者が「大変満足」「満足」と回答しており、「内容が濃く、とてもためになった。特に、良い論文がどういう特徴があるのかが、分かって良かった。」「改めて、論文作成の基本について、確認することが出来ました。」「現在卒業論文について悩んでいる自分にとって、非常にためになった。」「まだ論文を書いたことの無い私にとって、とても参考になる内容でした。今回学んだことを機に、論文を作成してみようと思います。」との感想がありました。



▲南野哲男 教授



▲講演の様子



▲質疑応答の様子



▲石川かおり 学内講師



▲高石雅人 氏

● アンケート結果（一部） ●

Q.セミナーの感想と印象に残った点

- ・ 大変勉強になりました。英語の論文作成についての示唆（ポイント）は、大変印象に残りました。
- ・ 論文作成ポイントをご教示いただき、論文を書くことに対する抵抗感が、少し減ったように感じます。
- ・ 論文作成ポイントは、非常に面白く、ためになりました。
- ・ 内容が濃く、とてもためになった。特に、良い論文がどういう特徴があるのかが、分かって良かった。
- ・ また、先生方の論文の書き方や、思い入れを聞かせていただきたいです。
- ・ 次回も同内容で、講師の先生を変えてお願いします。



香川大学 男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1 北5号館1階

TEL : 087 (832) 1055
内線 : 1055
FAX : 087 (832) 1057

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp